

◆ 第6回竜神地域会議 会議録 ◆

日時 平成30年9月25日(火) 19:00~20:45
場所 竜神交流館 大会議室
出席者 委員 : 17名(欠席3名)
事務局 : 野田支所長、下川副支所長、川合副主幹、
オブザーバー: 桜井市議、今吉竜神交流館長

- 次第
- 1 会長あいさつ
 - 2 竜神地域会議の予定
※【宿題】竜神ウェルネス・スポット
「速度・歩幅計測スポット」設置場所(案)の提出のお願い
 - 3 連絡事項
(1) 脱メタボリンピック応援講座について(開催報告)
(2) わくわく団体の見学について
(3) 竜神地域 地域カルテ・自治力見える化カルテについて
 - 4 協議事項
(1) わくわく事業地域ルール等について
(2) 竜神ふれあいまつりについて
 - 5 その他

■議事(要約)

- 1 省略
- 2 竜神地域会議の予定について
依頼事項
今回は竜神ウェルネス・スポット「速度・歩幅計測スポット」設置場所や地域カルテ・自治力見える化カルテについて協議するため、宿題として事前に考えて10月9日(火)までに支所に提出すること。
- 3 連絡事項
(1) 脱メタボリンピック応援講座について(開催報告)⇒省略

(2) わくわく団体の見学について
〈事務局〉見学委員は一覧のとおり。名前のない委員については本日確認したので、改めて提示する。一部の団体について日程等の記載がないが、日時・場所は決まり次第、見学委員に連絡する。

(3) 竜神地域 地域カルテ・自治力見える化カルテについて
〈事務局〉データを更新した。コメント部分等について、次回定例会で協議するので、意見があれば10月9日までに宿題として提出いただきたい。
〈委員〉自治区の世帯数について、これは加入世帯数か。またそうであれば、各自治区の住基世帯数は示せるのか。
〈事務局〉自治区への加入世帯数である。住基世帯数は町別なら示せるが、町でも

自治区が入り組んでいるところは難しい。

<館長>自治力見える化カルテの自治振興に記載されている竜神カフェについて記載に誤りがあるため、交流館職員に確認をしてほしい。

<事務局>承知した。

4 協議事項

(1) わくわく事業地域ルール等について

決定事項

1 地域ルールについて

【B案】現状のままとする

2 4年目以降の継続について

【B案】現状のままとする

3 正しい審査のための対応をどうするか

【A案】審査会の前に委員から団体への質問を回収し、団体からの回答を委員に配布

意見等

◆地域ルールについて

<委員> どのような取り組みをしているかに重きを置くべきである。

<委員> 花代などは、地域により購入先や購入方法、購入商品が異なり価格も違う。事業内容により、その可否を決めたほうが良い。地域上限の500万円も超えていない。

<委員> 今年度は3団体が花苗代やガソリン代を予算計上している。標準単価を決めたほうが公平であり、申請する団体側も分かりやすい。

<委員> ガソリン代は変動するため、標準単価を決めると団体が困ることになる。

<委員> 備品購入費は高額なものが出てきたときに地域会議の判断により決めればよい。必要に応じて、レンタルできるかどうかを確認し、使用料として計上するよう指示することもできる。地域にとって良い活動かどうかを判断すべきである。

<委員> 肥料など一つ一つの単価まで決めてしまうと、竜神のわくわく事業が活用しにくいものになる。

<委員> 事前に質問ができれば、これまでよりは正確に審査できる。審査の段階で必要であれば条件を付ければよい。

<委員> 事業内容が重要である。単純に価格だけで判断せず、各地域や豊田市にとって良い取組みなのか、その効果や将来性などを判断する必要がある。委員は正しく審査をしなければならない。

<副会長> 採決する。A案1名、B案16名。B案とする。

◆4年目以降の継続について

<委員> 地域の活性化のためには、審査会で審査の上、継続の可否を決めればよい。

<委員> 現在、補助を受けている団体の全てが、わくわく補助金がなくなったら事業が継続できない可能性が高い。よい活動をしている団体もあるので、継続回数に関わらず審査の対象とし、きちんと審査をすればよい。

<委員> 事業内容により、自立できるものと自立できないものがあることを考慮しなければならない。

